



浜水高
図書館だより

島根県西部の公共図書館

島根県西部にはたくさんの図書館があります。近くの図書館に行ってみてください。

大田市立大田中央図書館	〒 694-0064 大田市大田町大田イ 113-2
大田市立仁摩図書館	〒 699-2301 大田市仁摩町仁万 565-1
大田市立温泉津図書館	〒 699-2511 大田市温泉津町小浜イ 486
江津市図書館	〒 695-0011 江津市江津町 995
江津市図書館桜江分館	〒 699-4226 江津市桜江町川戸 11-1
浜田市立中央図書館	〒 697-0027 浜田市黒川町 3748-1
浜田市立金城図書館	〒 697-0121 浜田市金城町下来原 171
浜田市立旭図書館	〒 697-0425 浜田市旭町今市 637
浜田市立弥栄図書館	〒 697-1122 浜田市弥栄町木都賀イ 526-4
浜田市立三隅図書館	〒 699-3212 浜田市三隅町古市場 2002
益田市立図書館	〒 698-0023 益田市常盤町 8-6
益田市立美都図書館	〒 698-0203 益田市美都町都茂 1692 甲

地方議員は「なり手不足」、でも無投票は回避したい
議会が対策講じ選挙戦を実現

(4.25 読売)

23日に投開票された統一地方選・後半戦の町村議選では、地方議員の「なり手不足」が改めて浮き彫りになった一方、立候補者を増やそうと議会が知恵を絞り、選挙戦に結びつけた成果もあった。専門家は「議会自身が危機感を持ち、対策に乗り出すことが必要」と指摘している。

読売新聞社の集計では、373町村議選が18日に告示され、無投票は前回より30増の123町村。うち、立候補者が定数に満たない「定数割れ」は12増の20町村に及んだ。だが、なり手不足への対策に議会が自ら乗り出し、立候補者が定数を上回った町村議選もある。

長野県 木祖（きそ）村議会は2022年12月の議会後、現職10人が村議選に対する態度を一斉に表明。2人が立候補しないと明言した。

同村議選は今回から定数を9に減らしたが、無投票となる恐れがあった。そこで、早めに不出馬議員の数を明らかにすることで、新人の立候補を後押ししようとした。狙い通り、新人2人を含む計10人が立候補を届け出て、選挙戦になった。初当選した清水えり子さん（47）は「現職の態度表明は、立候補のきっかけになった。若手や女性が少ない状況を知り、議員になろうと決意できた」と振り返る。

愛知県 幸田（こうた）町議選は定数16に対し、現職11、新人11の計22人が立候補した。同町議選は前々回、前回選と無投票が続き、特に19年の前回選は立候補者が15人しかいない「定数割れ」だった。

町議会は全戸配布の「議会だより」で21年4月から22年10月にかけて計7回、「議員のなり手不足解消に向けて」と題した特集を掲載。議会への関心を高めようと、議員の仕事や、立候補から投開票までの流れを説明した。初当選した一人は「議会だよりを何度も読み返した。立候補にはどのような準備が必要か、よくわかった」と話す。

過去2回の町議選で無投票が続いた北海道栗山町では、町議会が今年2～3月、講座「議員の学校」を開講。計6回の講座に18人が参加し、議員から直接やりがいを聞くなどした。今回町議選には定数11に対し、14人が立候補。講座参加者では、端師孝（はしのりたか）さん（40）、斉藤隆浩さん（42）、大櫛則俊さん（56）の3人が立候補し、初当選した。24日の当選証書付与式で、斉藤さんは「講座に参加するまで、議会の仕組みがわかっていなかった。議会が何をしているかが町民に伝われば、なり手不足は解消できると思う」と語った。端さんは「講座を通して議員の熱意に触れ、心を動かされた。町に恩返ししたい」と意気込んだ。

法政大の土山希美枝教授（地方自治）は「なり手不足対策の成功例はまだ少ないが、議会として模索し、動いたところでは効果が見られる。危機に議会としてまとまって動くことができるかどうか、今後を左右する」としている。

レジ袋に「ごみ袋」は あり？なし？ 再利用できるけど「違和感」も

（4.16 山陰中央）

プラスチックごみの削減を目的に、島根県松江市が市内の小売業者と共同で、市指定の「もやせる」ごみ袋をレジ袋の代わりとして1枚ずつ販売している。全国的にも珍しい取り組みで、商品を入れて持ち帰った後に家庭で再利用できる利点がある反面、市民からはごみ袋に食品を詰め込むことに「違和感がある」との声も聞かれる。

「レジ・ごみ袋」と称して販売するのは、市指定のうち、10リットルの容量があるピンク色のごみ袋（1枚13円）。縦52センチ、横30センチ、幅12センチと、スーパーマーケットなどのレジで購入する3円分のポリ袋とほとんど同じ大きさだ。市は買い物客がマイバッグを忘れた際の代替品と位置づけ、2月20日からみしまやの市内全店舗とファミリーマート江島大橋店、玉造温泉店など計18店舗で販売。4月からはイオン松江ショッピングセンターなどイオン系列4店舗でも扱う。

自宅で商品を取り出した後にそのままごみ袋として利用できる利点があり、販売店舗のうち、みしまや楽山店では4月12日時点で485枚を販売。販売開始以降のレジ袋の売上枚数（5067枚）の1割ほどを占めており、松浦寛店長は「高齢者や一人暮らしなど特に家庭ごみの少ない世帯にとって便利な方法だと思う」と話す。

一方で、抵抗感を示す市民もあり、12日夕に同店で買い物をした60代女性はレジ・ごみ袋を受け取らず、ポリ袋を選択。「普段はごみを捨てる袋。見た目としても持ち歩くのは抵抗がある」と苦笑いした。

市は今秋をめどに売れ行きやポリ袋の削減量などを取りまとめ、事業継続の有無を含めた今後の取り組み方を検討する。市リサイクル都市推進課の大原康史課長は「あくまでも、マイバッグを推進することが第一」と前置きしつつ、「レジ・ごみ袋の販売を市民の環境問題への意識醸成につなげていきたい」と話した。

インドの人口、今月末までに中国抜いて世界一に 国連の人口担当部

(4.25 朝日)

国連経済社会局の人口部は 24 日、米ニューヨークの国連本部で記者会見し、今月末までにインドの人口が 14 億 2577 万 5850 人に到達し、中国を上回って世界一になるとの推計を発表した。中国の数字は本土のみで、香港やマカオは含まれていない。

同人口部の調べによると、インドの合計特殊出生率は 2・0 で今後も増加傾向が続き、2064 年ごろに安定する見通しだという。

JR 福知山線脱線事故から 18 年

遺族「何年たってもつらい」、事故現場で追悼慰霊式

(4.25 読売)

乗客 106 人と運転士が死亡し、562 人が負傷した 2005 年の JR 福知山線脱線事故は 25 日、発生から 18 年となった。小雨の中、兵庫県尼崎市の事故現場に整備された追悼施設「祈りの 杜もり」では追悼慰霊式が営まれ、事故が起きた午前 9 時 18 分頃に現場を通った列車内では、乗客らが手を合わせた。

「祈りの杜」で行われた追悼慰霊式で黙とうする参列者ら（25 日午前 9 時 45 分、兵庫県尼崎市で）＝代表撮影

慰霊式は JR 西日本の主催で、遺族や負傷者ら 285 人が参列。JR 西の長谷川一明社長は「社員一人一人が事故の反省を深く心に刻み、安全な鉄道を築き上げることを誓う」と述べた。